令和6年第4回 福津市議会定例会一般質問（令和6年6月）

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
1	秦 浩	1 市が補助金を支出したり、事業の連携をしたりしている商工会や観光協会等の事業について	<p>本市の商工業や観光事業を支えている団体の現状や、市が行っている支援や事業連携の内容について、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市が把握している商工会、観光協会の現状 ② 本市の各団体への補助金の補助率 ③ 本市と商工会が連携している事業 ④ 市、観光協会、観光地域づくり法人（DMO）の連携 ⑤ 福津いいざいの現状 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
2	榎本 博	1 地域拠点の整備について	<p>第2次福津市都市計画マスタープランの拠点整備の方針では、「市民の生活拠点となり、人々をひきつける賑わいと魅力を担う3つの拠点（福間駅周辺地区・津屋崎地区・東福間駅周辺地区）は、それぞれの性格付けや役割分担に応じたまちづくりをすすめ、これら3つの拠点の利便性や活力が市全体の暮らしの向上と活力維持につながる『集約型都市構造のまち』を形成することを目指します」とある。主要施策の地域拠点として位置づけられている「津屋崎地区」と「東福間駅周辺地区」の事業の取り組みについて、以下の事を伺う。</p> <p>1. 津屋崎地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕陽館の貸与事業者等募集の進捗状況 ② 大峰山キャンプ場の事業の進捗状況 ③ 旧魚正の状況 ④ 国の重要文化財に指定された豊村酒造の今後の取り組み ⑤ 観光交流ゾーンを繋ぐ交通アクセスの取り組み ⑥ 史跡・名所の維持管理業務 ⑦ 玄海国定公園の歩道維持管理業務 ⑧ 津屋崎地区内における(一社)ひかりのみちDMO福津の取り組みの評価 <p>2. 東福間駅周辺地区</p> <p>東福間駅周辺地区都市再生整備計画で変更があったと聞かすが、変更の内容と今後の取り組みについて</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
3	井手口 忠信	1 福津市国民健康保険第3期保健事業実施計画・第4期特定健康診査等実施計画について	<p>本市の保健事業における課題への取り組みと進捗状況について、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保険者努力支援制度に関する取り組み ② 地域差指数からみえてくる本市の課題への取り組み ③ データヘルス計画において本市の課題となっている疾患に対する取り組み ④ 特定健康診査における本市独自の追加項目の評価と成果 ⑤ 課題解決にむけた個別事業のなかで、重症化予防事業の今後の展開 	
		2 5歳児健康診査について	<p>発達障がいや早期発見・早期療育の開始が重要である。厚生労働省の報告によると、3歳児健康診査が最終の現行体制では年齢的に発見が困難で、5歳児健康診査を基盤とすることで多くの把握が可能になるとしている。また、国は全国的な実施に向け、本年より市区町村の健康診査費用の助成を開始した。</p> <p>5歳児健康診査の必要性についての本市の見解を伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
4	倉元 敏徳	1 農村地域防災減災事業について	<p>市内に92箇所ある農業用防災重点ため池について、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年度に実施する6箇所のため池調査の進捗状況 ② 農業用として利用されていないため池はいくつあるか ③ 利用されていないため池の今後の対応 ④ 令和6年度実施される本木地区の金江池の浚せつについて 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
5	中村 恵輔	1 市の人口推計について	本市は近年全国でも類を見ないほどの人口増加率を見せている。人口増減は行政施策決定に大きな影響を及ぼすものであり、推移を正しく予想することが重要である。そこで、本市の今までの人口ビジョンの総括と、それを踏まえた今後の計画について伺う。	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
6	大山 隆之	1 本市の保育所の待機児童について	<p>日本全国で、待機児童が5年連続で減少とこども家庭庁から発表されている。また、昨年の推計では全国で2,680人の待機児童がいるとのデータが出ている。</p> <p>このことから、本市の待機児童について下記の点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 待機児童数 ② 待機児童で一番多い年齢 ③ 今後の待機児童の推計 ④ 待機児童に対する今後の対策 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
7	中村 晶代	1 福間駅を安全で快適に利用するための環境整備等について	<p>民間の調査による駅の統計データでは、福間駅は一日の利用者数が約16,000人以上で、「一日の利用者数が多い駅」として、福岡県の中でも上位にランキングされている。その中で、駅の利用者から様々な声上がり、これまで改善された点もあるが、新たな問題も見受けられる。以下の点について伺う。</p> <p>① 福間駅の市が管轄する部分に対して、どのような対応を行ってきたのか。</p> <p>② ハト被害への今後のさらなる対策</p> <p>③ みやじ口階段の天井が崩落している部分への対策</p> <p>④ みやじ口側の危険な道路横断への対策</p> <p>⑤ さいごう口側のロータリーは雨天時に広範囲が水浸しになる。その対策は。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
8	石田 まなみ	1 防災について	<p>本年1月1日16:10に発生した、最大震度7の令和6年能登半島地震は、4か月が経過した5月1日の時点でも断水が続く地域があり、また一部報道によると4,600人余りが避難生活をしているなど、まだまだ日常生活を取り戻す状況には至っていない。</p> <p>この震災によって、私たちは「災害はいつ起こるか分からない」という認識を新たにすることになった。</p> <p>本市では、令和6年3月に「福津市地域防災計画」が改定されている。これに基づき、福津市の防災計画や防災訓練、災害への備えなどについて、以下を問う。</p> <p>1. 防災計画の中で改定された内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「災害に強い組織・ひとづくり」とは具体的にどのようなことをしていくのか ② 「災害に強いまちづくり」の今後の計画 ③ 「災害に備えた総合防災体制づくり」とは ④ 先進地への視察や情報収集について <p>2. トイレの備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市が備蓄している簡易トイレセットについて ② 災害時に想定されるトイレの状況と対応について <p>3. 災害現場からの情報収集の現状と課題、対応</p> <p>4. 日頃からの備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民への防災意識の啓発について ② 公園などに設置されているかまどベンチについて <p>5. 全市一斉防災訓練について</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
9	中村 清隆	1 幼稚園・認定こども園の預かり保育について	<p>本市の保育ニーズの重要性は高い。国の幼児教育・保育の無償化に伴い新しく作られた新2号認定の補助制度があり、保育園で弾力的措置を取っても待機児童が多い中、幼稚園と認定こども園での預かり保育は、保育ニーズをしっかりと満たしていると感じている。そのうえで、様々な課題について、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新2号認定の補助金 ② こどもに関わる各部や各課の関わり方 ③ 保育ニーズの捉え方 ④ 幼稚園・認定こども園の預かり保育の認識 	
		2 野生動物の捕獲管理について	<p>福岡県において、イノシシやシカによる農作物被害が多く発生している状況である。イノシシ、シカは、福岡県第二種特定鳥獣管理計画により、捕獲の推進等が進められ、適正な生息環境を目指す努力がされている。その他、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の防除の考えについて、県の施策や計画、方向性等を踏まえた上で、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 県のアライグマ防除実施計画における本市の取り組み ② 福岡県との連携 	
		3 中学校の部活動地域移行について	<p>部活動の在り方を見直し、教員の働き方改革を進めるための今後の部活動の地域移行について、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域移行の課題 ② 今後のスケジュール ③ 本市における部活動の強み・弱み ④ 地域移行後の展望 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
10	戸田 進一	1 市立大和保育所の 存続について	<p>大和保育所は、認定こども園設置検討委員会において、市立認定こども園の検討を行うこととなった。そこで、以下の点を伺う。</p> <p>① 認定こども園設置検討委員会の委員構成、公募時期、委員会開始時期、及び諮問内容等</p> <p>② 児童福祉法第24条を踏まえた上で、認定こども園になることによる施設等の性格の変化</p>	
		2 子どもたちの教育 環境改善について	<p>学校の過密のために子どもたちへ大きな負担がかかっている。過密解消のための新設校計画の他に、校区再編等についても検討されているが、さまざまな課題を抱えている。さらに、教職員の長時間勤務の実態は深刻であり、その影響はすべて子どもたちにしわ寄せがきている。教育環境改善のために、以下の点を伺う。</p> <p>① 福間南小学校などの過密解消策及び校区外通学制度</p> <p>② 教職員の長時間勤務の緩和策</p> <p>③ 教育委員会の体制</p>	
		3 教育委員会における行政運営について	<p>① 教育委員会議事録の不存在について</p> <p>② 財産取得の申出書及び市長からの答弁書の不存在について</p> <p>③ 新設校建設に関わる宮司地区説明会について</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
11	岩下 豊	1 国民健康保険税の引下げについて	<p>本市は昨年度に続き令和6年度も国保税率を据え置きとしている。しかし、国保税が高いことには変わりはなく、近年続いている物価高騰で市民の家計は厳しい状況である。保険者として、市民の暮らしを守る立場から国保税の引下げが必要と考え、以下について伺う。</p> <p>1. 本市国保加入者の状況</p> <p>① 加入者の平均年齢</p> <p>② 加入者の平均収入</p> <p>2. 保険料水準の統一化で国保税はどうなるのか</p> <p>3. 高い国保税に対する市の考え</p>	
		2 高齢者が安心して住み続けられるまちについて	<p>本市の高齢者数は19,012人(令和6年3月末時点)で、そのうち後期高齢者が10,470人である。高齢者の健康維持、介護予防策を充実させ、高齢者が引き続き安心して本市に住み続けられるように、以下について市の考えを伺う。</p> <p>① 認知症予防の観点からの軽・中度難聴者への対策</p> <p>② 高齢化率が高い地域の買物支援対策</p>	
		3 保育所給食費無償化について	<p>本年3月定例会の一般質問で、保育所の給食は保育の一環であること、その保育を市は私立保育所に委託している関係であることが明らかになった。しかし給食費は引き続き保護者負担としている。市が委託する給食の費用が保護者負担である根拠を伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
12	豆田 優子	1 香害から市民の健康を守る取り組みについて	<p>令和5年6月定例会において、香害について一般質問した。その後の市の取り組み状況を伺う。</p> <p>① 香害の周知 ② 香害の実態調査 ③ フレグランスフリーの取り組み</p>	
		2 市民と共に歩むまちづくりについて	<p>本市では、新設小学校の建設が進められている。ふくおか市民政治ネットワークは、関連議案に賛成してきた。それは、令和9年4月開校を基本とするからである。「学校づくりはまちづくり」とは、総合教育会議の中で出された意見である。そこで、まちづくりの観点から以下について伺う。</p> <p>① 新設小学校の建設についての住民への説明 ② 新設小学校の建設で影響を受ける住民への配慮</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
13	山本 祐平	1 随意契約について	<p>随意契約は選定方法の透明性や公平性の確保が難しいため、適正な運用が求められる。財政状況が厳しい本市において、適正な運用が出来ているかは非常に重要であることから、以下の点を伺う。</p> <p>① 随意契約およびプロポーザルガイドラインの公表状況 ② 令和5年度末より実施予定とされていた業務遂行状況検査の実施状況 ③ 令和6年1月18日に実施された「随意契約の実態と課題について」の総務文教委員会所管事務調査の調査結果及び提言に対する認識</p>	
		2 福間漁港及び津屋崎ヨットハーバー管理業務委託について	<p>本業務委託の随意契約理由や業務実態について、過去の議会で問題点が指摘された。その後の経過について、以下の点を伺う。</p> <p>① 令和6年度からの起案文書や仕様書等の変更内容 ② 令和4年度の業務実態の確認方法 ③ 令和5年度の業務実態の確認方法</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
14	福井 崇郎	1 本市の障がいのある子ども等への支援について	<p>1. 配慮を必要とする子どもの状況について以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保育園での配慮を必要とする子どもの受入れ状況やその判断基準 ② 加配保育士を配置したことによる子どもの保育の状況や園生活の課題 ③ 未就学児のインクルーシブ教育に対する本市の考え方 ④ 乳幼児健診時における発達障がいの早期発見と早期療育支援へつなげるための施策 ⑤ 小学校における配慮を必要とする子どもの受入体制の整備と連携 <p>2. 医療的ケア児等およびその家族に対する支援について以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市の医療的ケア児の実数 ② 医療的ケア児の保育園の受入状況と課題。また、未就学の医療的ケア児等の社会生活支援を行う受入先にはどのようなところがあるのか。 ③ 小中学校における医療的ケア児等の受入体制の整備 ④ 災害時に人工呼吸器を使う医療的ケア児等の対応について、本市はどのような支援を考えているのか。 ⑤ 医療、保育、保健、福祉、教育など多岐にわたる支援が必要な医療的ケア児等やその家族が、年齢に応じて必要な支援を受けるための関係機関と行政の連携は。 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
15	佐伯 美保	1 盛土造成での新設校建設における周辺地域への影響評価と安全対策、住民との合意形成について	学校施設は、子どもが安全に通い学び過ごす権利の保障と地域の防災拠点としての役割が求められる。自然災害が激甚化している昨今、文部科学省は令和5年に「水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進のための手引」を公表し、水害リスクを踏まえた浸水対策並びに流域治水等に対して学校施設が担う役割を示したところである。「洪水&高潮&ため池浸水想定区域」へ、盛土造成で建設予定の新設校の周辺地域への影響評価と安全対策、住民との合意形成について問う。	
		2 新1年生用学習教材について	SDGs未来都市福津市では、公平な教育環境の整備が求められる。憲法、教育基本法、学校教育法において義務教育は無償となっているが、本市における新1年生用学習教材の保護者の負担状況と学校及び市の対応について問う。	
		3 5歳児健診の実施について	切れ目のない健やかな子どもの育ちの支援に向けて、国の「5歳児健康診査支援事業」が令和5年度から開始されている。子どもを真ん中に、関係機関と園、保護者による情報共有と就学までの期間における適切な支援体制の構築等の観点から、5歳児健診についての市の認識と今後の取り組みについて問う。	
		4 こどもの権利保障とこどもの権利条例制定について	令和5年4月にこども基本法が施行されて1年が経過したが、こどもの権利保障とこどもの権利条例の制定についての市の認識と取り組みについて問う。	
		5 情報公開及び個人情報保護の取り組みについて	本市の情報公開制度は、市が保有する情報を公開し、広く市民の知る権利を保障することにより、市政に対する市民の参加と監視を促進するとともに、市民生活の維持、向上を図り、開かれた市政を実現することを目的としているが、取り組み状況を問う。また個人情報保護に関する取り組み状況を問う。	